

2020年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【令和3(2021)年4月8日(木) 15:00～ 産業技術センター所長室】

- 1 参集者 野原所長、伊藤副所長、星野副所長兼管理部長、諏訪副所長兼技術交流部長、大根田機械電子技術部長、宮間材料技術部長、岡本食品技術部長、荒山繊維技術支援センター長、松本県南技術支援センター長、大橋紬織物技術支援センター長、谷窯業技術支援センター長
- 2 導入した機器
キセノンウェザーメータ (材料技術部)
ア 機種 岩崎電気株式会社製 アイ スーパーキセノンテスター
イ 購入先 日本電計株式会社 宇都宮営業所
- 3 実施経過
令和2(2020)年 6月17日 銘柄指定委員会開催
8月6日 一般競争入札実施
8月7日 購入契約締結
令和3(2021)年 2月26日 納品、検収
3月10日 支払い
- 4 現在までの使用状況
正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約1ヶ月で、試験機器の新機能確認やマニュアル作成、機器の活用トレーニングに取り組み、企業からの依頼試験実施のための条件打ち合わせや段取り等で26件利用した。
- 5 今後予想される波及効果
中小企業単独では導入することが困難な試験機器を整備し、第三者機関・公的機関として試験を実施することにより、自動車・航空宇宙・医療機器関連等の機械金属・プラスチック工業関連企業における製品開発の活性化や材料・部品の品質向上が図られ、地域企業の更なる受注増、地域経済の継続的発展に繋がることを期待できる。
- 6 総括
県内中小機械金属・プラスチック工業者のニーズの把握やそれに基づく機器仕様の検討について、本庁工業振興課と産業技術センターが連携して取り組んできた。これにより、交付決定後、速やかに銘柄指定委員会を開催し、機器仕様を決定することができた。機器の納入後、メールマガジンやホームページを活用した広報・周知を行っており、当該機器への問い合わせは増加している。今後、技術講習会や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器の周知を積極的に推し進め、十分な活用を図っていくこととする。